

平成29年度 体育

教科(科目)	体育(体育)	学科(コース)・学年	全学科・3年生
使用教科書	現代保健体育(大修館書店)		
副教材等	現代保健ノート(大修館書店)		
履修単位(時間)	2単位(70時間)	履修条件	必修

1. 学習目標

1、2年次で習得した各運動種目の基礎技術・基本動作をさらに充実させ、自ら種目を選択することにより、自主的に学習を進めていく。仲間と協力しあい目標を決めてそれらの目標を達成していく態度を養う。

2. 指導の重点

- ・各運動種目において運動の技能を高める。
- ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことのできるようにする。
- ・体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育てる。
- ・継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1学期	○ 集団行動 1 姿勢 2 方向 3 集合、 整頓、番号、解散 4 列の増 減 5 開列 6 行進 7 足ぶ み 8 礼	○ 集団行動のおもな行動様式をみ につけ、機敏、的確、安全に行 動できるようにする。	○ 正しい姿勢、整列、 礼法の指導を、正し くできるか、確認を 行う。
1学期	○ 体づくり運動 ア 体ほぐしの運動 ・ ペア、グループでの体ほ ぐし運動 ・ 新工体操 イ 体力を高める運動 ・ 筋力トレーニング ○ 体力テスト 文部科省指定体力テストの実施	○ ペア・グループで体ほぐしの運 動を行う。 新潟工業高校独自の「新工体操」 を修得し、体ほぐし及びウォー ミングアップとして活用できる ようにする。 ○ 筋力トレーニングとして腹筋・ 背筋・腕立て・脚力系トレー ニングを行う。 ○ 体力テストを実施し、生徒の体 力を把握するとともに、各自で 自分の体力を数値で確認し、今 後の体力づくりに生かす。	○ 3年次には1年次で 覚えた「新工体操」 を正しい順序で正確 な動作で行えるか確 認を行う。 ○ 3年間継続して測定 し体力の変化を確認 する。
1学期 2学期	○ 陸上競技 ・ 競走(長距離走)	○ 長距離走として、校舎外周やグ ラウンドを利用して長距離走を 行い、計測をする。	○ 授業態度・成果・計 測記録で評価する。
1学期 2学期 3学期	○ 球技〈ゴール型〉 サッカー フットサル	○ 局面での突破方法や組織的に守 る方法を考えながら、効果的に 試合を展開することを目指す。 ○ 個人の特徴を考えたシステムを 用いた試合を展開することを目 指す。	○ 3対2、4対3など で数的優位な状況を 利用した突破を目指 す。また数的不利の 守備の仕方を学ぶ。 ・ 1対1のゲーム ・ スキルテスト
1学期 2学期	○ 球技〈ベースボール型〉 ソフトボール	○ チームとしてのまとまりがあり、 組織だった動きで打撃・守備が できるようになる。 ○ 連係プレーを生かし、素早い判 断と積極的なプレーができるよ	○ 攻撃の戦術 ・ コース打ち ・ ヒットエンドラン ○ 守備の戦術 ・ ベースカバー

1 学期 2 学期 3 学期	○球技〈ゴール型〉 バスケットボール	うになる。 ○パス&ランやスクリーンプレーの基本的な動きを身につけ状況に応じたシュートができるようになる。 ○速攻の仕方やアウトナンバーでの状況判断力を養う。 ○基本的な集団防御方法を身につける。 ○協力して攻撃、防御を行い正規のルールに従いゲームができるようにし、公平性や協調性を養う。審判法も学びルールに対する理解を深める。	・ダブルプレー ○基本プレー練習する ・パス&ラン ・スクリーンプレー ・2対1 ・3対2 ・2対2 ・3対3 正規ルールでの5対5
2 学期	○球技〈ネット型〉 バドミントン	○基本技能を正確に身に付けるとともに、相手に応じて作戦を立て、工夫したゲーム展開ができるようになる。	○正規のルールでのシングルス、ダブルスを行う。 ○フットワークとフォーメーションを用いたゲーム展開を目指す。 ・スキルテスト ・正規のゲーム
	○体育理論	○生涯にわたってスポーツと豊かに関わるためのスポーツライフの設計のしかたについて学ぶ。	○プリント、学習ノートを用いて調べ学習をする。 ○学年末総合テスト

4. 評価規準と評価方法

【体育】95%

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
○各運動種目の技術練習を通して積極的に課題を見つけ意欲的に取り組んでいる。 ○ルールや約束事を厳守し、チームにおいて協力しながら学習を進めている。	○自分の課題を明らかにし、具体的な解決方法を見いだすことができる。	○ゲームで必要な集団的・個人技能を活用し学習状況に応じた授業が展開できる。	○各運動種目のルールを理解している。 ○学習した技術をゲームで生かそうとしている。

具体的な評価の対象

- ・技能テストなどの評価 (60%)
- ・授業態度 (20%)
- ・出席状況 (20%)

【体育理論】5%

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計について、比較したり、分類したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し、説明している。	・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方について理解したことを言ったり書き出したりしている。

具体的な評価の対象

- ・ 学年総合テスト（60%）
- ・ 授業態度及び出席状況（40%）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

用具の準備、片付け等は、みんなで協力して行う。授業では、担当の先生の指示を守り、怪我に十分注意して授業を受ける。